

主題聖句: 「私は私の世のことを考えてみた。見よ、それは滅びていた。また私は私の地のことを考えてみた。見よ、それはそこに生じてきたたくらみによって危機に瀕していた」(エズラ記[ラテン語] 9:20)。『聖書協会共同訳』 本文に出ている聖書はすべて『聖書協会共同訳』。

<序>

津波が来たらまず高台へ

2024年1月1日、4メートルを超える猛威に珠洲市三崎町寺家の民家は飲まれました。出村正幸(47歳)さんが2日に現地の石川テレビに提供した動画は2月1日に放映されました¹。寺家の避難集会所では10人の内、4人が独居の高齢者でした(2月5日)。金沢や富山方面に2次避難のため、寺家で若い人を見かけることはありません。

2ヵ月以上になるというのに、石川県からの避難者は約8千人以上、仮設住宅、配管が修復できないため水道がまだ復旧していません。女性ボランティア参加者も簡易トイレは必携です。文明国でなぜかくも無残、震災関連死、寒さで震えなければならないのでしょうか。

2015年、暴風雨サイクロンの被害にあった南太平洋の逆境にある人々の被災状況、孤児たちに笑顔があったことを思い起こしました²。サイクロン、台風の被害は日本でも大きく報じられました。

2015年3月12日、台風3号はビキニ諸島=マーシャル諸島で発生し、北上。「バービー」と呼ばれました。ベトナム北部の山の名称からベトナム人が名付けました。赤道を挟んで発生した双子の熱帯低気圧でした。南半球の人々の間では呼称が変わりサイクロン「パム」という南太平洋史上最大の暴風雨になりました。

東日本大震災でボランティアに仕えた4年目でした。妻カヨ子のすすめもあり、手が差し伸べられにくいバヌアツの子どもたちのために、渡河しました³。首都ポートビラ市には日本からの救援金はゼロでした。

近年異常気象のせいでしょうか、熱帯低気圧は河川、海洋汚染、森林減少・砂漠化による自然破壊をもたらし、建物のすべてを破壊していました。何が原因で熱帯低気圧が生じるのでしょうか。

台風4号の北半球と反対側の南半球、日本から南東4600kmに位置するビキニ諸島(2ページ下左側画像)、つまりマーシャル諸島において熱帯低気圧が大暴れしました。映画ゴジラ(2ページ下右側画像)の誕生は暗黒の世に、ひとつの光を灯すことになりましたでしょうか。神戸国際支縁機構のボランティアが「暗闇と死の陰に座している者たちを照ら」したであろう小さな働きは後世には忘れ去られていることでしょう。自己満足、有名になりたい動機、収入のためではないことをはじめに申し上げておきます。

食料安全保障が日本のみならず、アフリカなど地球人類にとって行き渡るように、能登の回復が試金石になればと黙想念願しています。

¹ 拙論「奥能登の風光と闇—第3次 1.1 大震災報告—」(「支縁のまちネットワーク」共同代表 2024年2月4-8日)。

² 拙稿 季刊誌『支縁』No.11(神戸国際支縁機構 2015年 1頁)。台風の語源はテューポーン。ギリシャ神話でゼウス神を最も苦しめた怪物 typhoon から由来。中米のカリブ海にあるハイチ国のハリケーン被害も凄まじい爪痕を残した。南太平洋のサイクロンはギリシア語の「回転」が語源。

³ 超大型サイクロン「パム」は風速96メートル以上。2015年3月13日~14日、16日、バヌアツの人口26万7千人の全土を暴風雨に巻き込んだバヌアツ国首都ポートビラ市では最大瞬間風速85メートルを記録。「緊急支援を待つ子どもたちが6万人」と日本ユニセフ協会は3月15日に発表。筆者はボールドウィン・ロンズデール大統領に会見(“Vanuatu Daily Post” April 29 2015)。

目次

- (1) 過疎, 高齢化, 少子化をなくすには
 - a. 田ノ神が山から降りてくる 3
 - b. 復幸米への挑戦 4
 - c. 食をないがしろにする権力者(エクスーシア) 6
- (2) 農・林・水産業従事者の少なさと同根
 - a. 農への新たな決意 7
 - b. 日本の食糧危機 10
 - c. 「創造的復興」から「生活復旧」 11
- (3) 生活復旧が急がれる
 - a. 地震・津波・隆起が襲う地に原子力発電所は危険 13
 - b. ビキニ諸島での被災者の怨念 14
 - c. 珠洲原発 15



『読売新聞』(1954年3月16日付 第14面)。



映画「ゴジラ」ポスター 1954年

(1) 過疎, 高齢化, 少子化をなくすには

a. 田ノ神が山から降りてくる

能登は幾千年前から海底であった平らなプレートが隆起を繰り返してできあがりしました。1.1 大震災で隆起した海岸段丘を見ると、活断層の地震が数千年単位で起きていたことが伝わっています。

山と海の間土地は極端に狭くやせています。稲の開花期から収穫期までの間、気候的にも日照時間が短いのです。江戸時代には加賀藩の年貢のとりたては厳しかったようです⁴。三重苦の地域です。日本人の主食である米栽培する田んぼには、土地土地にさまざまな守護神を見かけることができます。3月7日、珠洲市三崎町寺家須須神社で祈年祭が営まれました。約20人が能登半島地震からの復興や五穀豊穡⁵を祈願。多田千鶴権禰宜⁶(44歳)が鈴を手に「浦安の舞」を披露し、猿女豊信禰宜(57歳)が祝詞を奏上しました⁸。日本の子どもたちと十数回にわたり「復幸米」づくりを宮城県石巻市渡波と、九州の熊本県球磨郡相良村で取り組んでいます。子どももお米の味がおいしいかどうかみわける鋭い味覚があります。幾世紀にもわたり、瑞穂⁹の国に育ったことも影響しています。コメについては敏感と言えます。

小川にメダカが群れる頃、田にレンゲの花が咲き誇る頃、田ノ神¹⁰が山から降りてくる祭が連続と続いてきました。震災があっても村人が田ノ神を崇め、祭を行うことによって地域の連帯感が生まれ、奥能登の地に固有の文化を育ててきました。しかし、1.1 大震災によって、寺家の住民は長年続けてきたキリコ祭を中断しなければならぬと言われていました。田ノ神は雲隠れをなさるのでしょうか。「まことにあなたは御自分を隠される神¹¹」(イザヤ 45:15)、と、一時的に田ノ神もお隠れされるのでしょうか。

「国破れて山河在り」(杜甫の律詩)の句はよく口ずさまれてきました。戦乱によって都が滅ぼされたとはいえ、山や川などの自然は変わらない姿でたたずんでいるという意です。松尾芭蕉[1644-1694]も応用して用いましたが、現代、自然は災害、コンクリート製のダム、海を見えなくする防潮堤、ビルなどによって変貌しています。

農業の担い手は不足しています。高齢化により、しばむ農業です。14年間、農に携わっている宮城県でも農地は大規模化しています。外国人労働者を見かけるのも珍しくなくなりました。農山村の農家、林業従事者数は激少しています。農林水産省によると2023年における基幹的農業従事者数は116万人。平均年齢は68.4歳(2022年)で、70、80代が中心になってきました。

神戸国際支縁機構[以後 機構]は、「限界集落¹²」に多発してきた災害のボランティアに取り組んで

⁴ 厳しい年貢の取り立てに苦しんだ農民が役人の目を盗んで隠し田をつくり、年に一度お椀に山盛りのご飯をお腹一杯食べたことが始まりとされる。「もっそう祭り」(輪島市久手川町)で各家に田ノ神様を迎え入れる。お椀の上に高さ15センチのご飯が盛り上がる。「もっそう」とは薄い板でつくられた木枠の筒である。

⁵ 農の豊作祈願を込めた祈誓。江戸後期の国語学者谷川士清編[1777-1887]による『倭訓 葉』では、「神代紀に五穀をよめり、五穀の種つ物の義なり、五穀を稲粟稗麦豆と定め」とある『祭・芸能・行事大事典(上)』(金田久璋 朝倉書店 2009年 647頁)。「古事記」では米、麦、アワ、大豆、小豆。『日本書紀』では米、麦、アワ、ヒエ、豆。現在、穀物全般を指している。中国は、米、麦、アワ、豆、黍(きび)。

⁶ 神職の名称の1つ。神主(宮司)の次位は禰宜であり、禰宜の次位。

⁷ 神祭りの際に、神職が神に対して唱える独特の文体をそなえた言葉。「六月の月次」五穀の豊穡を祈る。

⁸ 『北國新聞』(2024年3月8日付)。

⁹ 「みずみずしい稲の穂」の意。祝詞の際、「豊葦原千五百秋水穂国」と、田んぼを前にして宮司が祈る。

¹⁰ 『田ノ神—春夏秋冬—』(桶渡直竹 南方新社 2001年 2, 4頁)。

¹¹ 「隠れたる神」“the hidden God,” “Deus absconditus” デウス・アブスコンディトゥス。『隠れたる神』(ニコラス・クザーヌス 大出哲 & 坂本堯訳 創文社 2003年)。石川県かほく市は哲学者・西田幾多郎の郷里。筆者岩村義雄の『「無」宗教論(WCRP 平和と大学講座 2023)は“神は有にしてまた無なり”と唱えたクザーヌス[1401-1464] から影響を受けた西田哲学で精練された。参照:『善の研究』(西田幾多郎 岩波文庫 2002年 234頁)。

¹² 『限界集落の真実: 過疎の村は消えるか?』(山下祐介 ちくま新書 2012年 9頁)。65歳以上の高齢者が集落の半数を超え、独居老人世帯が増加したために、社会的共同生活の維持が困難な状態に置かれている集落のこと。地域人口の50%以上が65歳以上の集落。若者が流出し、冠婚葬祭などの社会的共同生活を維持することが限界に近づきつつある集落のこと。55歳以上が過半の場合と、社会学者大野晃[あきら 1940-]が1988年に提唱。

きました。率直に言って、限界集落では説明がつかない「消滅集落」¹³という用語すら登場する時代に突入しています。もし人間がいなくなると、「里山」は荒地に変貌します。農林業が営まれることにより森林、ため池、腐葉土に染みこんだ清水が里川に流れるのであり、そのような光景は見られなくなりつつあります。田ノ神が里に下りてくる祭が消滅することがあってもよいでしょうか。

b. 復幸米への挑戦

連綿と続いてきた営み―耕支縁―を私たちの世代で終了させるわけにはいきません。「主は、あなたが地に蒔く種に雨を与えられる。地の産み出す穀物は豊かで栄養がある。その日、あなたの家畜は広い牧場で草を食む」と聖書に書かれています(イザヤ 30:23)。自分や子どもや孫たちに良い環境を継承する責任があります。そこで地震、津波、無人化の廃墟と化した無残な水田跡で、石巻市渡波の土地改良組合の主だった方たちと話し合いました。農家の指導者たちと2011年9月3日に合う約束をし、単身、神戸から車で訪問しました。三浦敏壽理事長は「お前さん、農業をやったことありなさんか」と聞かれました。ないと言え、話し合いは決裂です。とっさに車が串刺しになってへドロが浮いている田んぼに入りこみました。どろを手ですくって口に入れました。「ここを食べることができる場所にさせてください」と、頭を下げました。それからは稲井土地改良区の三浦理事長が後ろ盾になってくださいました¹⁴。「日本の農の復活ここから」とメディアもとりあげてくださいました。神戸からの若者たちは、農ボランティアを通じて、環境、いのち、地域コミュニティを守る農に汗を流しました。東日本大震災以降、機構は生まれてはじめて鍬をもち、鋤などが入らず固くなった農地に立ち向かいました。ペンより重たいものをもったことがない街育ちの学生、若者が手に血豆をつくって排水路、用水路、田起に明け暮れました¹⁵。宮城県石巻市渡波で代々農家で生まれ、育ったお百姓さんに対して、まったく素人の私たちがコメを栽培するというのははじめから勝負はついています。ましてや津波で変色し、固くなった農地を耕すトラクターなどの機械類も私たちは何もありません。あるのはスコップ、量販店で購入した3本の鍬、ふるいぐらいです。作物を出荷して、金銭に換え、翌年の苗を購入する収益もありません。三番目に地震、津波、農の担い手の減少に対する行政からの補助金も一切対象外です。戸別所得補償制度の恩恵もありません。三重苦でした。しかし、私たちが目指したのは農業ではなく、「農」そのものでした。田んぼは寄り添うパートナーでした。生き物が田んぼにたくさんいるのが本来の農であります。鍬などの農具でやさしく耕します。儲けの対象として耕耘機などで片っ端から掘り起こして、農地を生産の囚人とはみなしません。「そこを耕し¹⁶、守るためであった」(創世記 2:15)。

実践とは別に、理論面については、2012年7月28日から神戸で保田茂¹⁷[1939-]講師から特に有機農法について学び始めました。したがって、利益だけを追い求めるシステム(化学肥料+農薬+各農家に耕耘機)に抗い、自給自足という古代からの最も原初的なスタイルに挑戦しました。保田先生は、「天地有機」の由来から説かれます。天と地は大自然。有機は「機」が「有」る、「機」は「摂理」と考えます。すなわち大自然は摂理によって維持されているというわけです。山の木は農薬はいら

¹³ 『消滅集落』とはかつて住人が存在していたが、転居や死亡などで住人の人口がゼロになった集落。『過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査報告書』(総務省 地域力創造グループ 過疎対策室 2020年 2-129)。

¹⁴ 『朝日新聞』(2011年11月4日付)。『毎日新聞』(2012年1月17日付)。

¹⁵ 『読売新聞』(2011年11月19日)。

¹⁶ 「耕す」(ヘブライ語 אָבָד *abad*)は「仕える」「救う」の意。「守る」(שָׁמַר *shamar*「見守る、救う、世話する」の意。反対語は「略奪する」בָּזַז *bazaz* 英語 *plunder* <「～を荒らす」の意>がある。

¹⁷ 農学博士。神戸大学名誉教授。日本有機農業学会会長。神戸国際支縁機構の「Let's 農林漁」講師。『自然の回復、ひととの共生』(保田茂共著 [以後 共] 大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター 2023年 29-31頁)。『JAゼミナール』“一楽照雄氏の思想と有機農業”(2018 March 14-15頁)。現在も佐々木美和事務局長は保田茂塾で農法を学んでいる。

ない、道ばたの草むらも農薬がなくても元気に生きています。保田先生は、なぜ人間が作る穀物だけ農薬を用いるのか、と受講生に常に問いかけられます。無農薬が本来の農法の在り方だと教えられました¹⁸。

無農薬、有機農法¹⁹という私たちの理想はプロの農家にとり不届き千万に映りました。無農薬は、有害なカメムシなどの発生につながるということで反対の大合唱が起こりました。神戸からのボランティアの若者が道であいさつをしてもそそくさとその場所から離れる冷淡さも体験しました。当初、冷ややかに観ていた地元の農家、農協、渡波地域農業復興組合も変わられました。それは2013年6月18日の出来事です。荒れ地を水田にするため、量販店ホームックから水道ホース100^トを購入。ご近所の津田泰子さんの家の水道につながるように流し込みました。2時間たっても、3時間たっても水は貯まらず、地面に吸い込まれていきます。女性参加者もしゃにむにになって石ころと格闘しました。おそらく渡波の住民も見たことも聞いたこともない挑戦でした。バカとしかいいようがない行為です。たいていの人間ならそこで投げ出してしまおうでしょう。そんな向こう見ずな光景を見て、私たちの本気度が伝わったようです。震災の補助金で農を休んでおられた百姓の本質に触れました。農家の方たちはご自分の鍬など農具を持って来てくださいました。水が外に流れてしまわないようにブリキの畦用フェンス^{あぜ}を荒れ地の周囲に張るようにと、高さ20センチくらいの長いものを使ったらいいよと、すすめてくださいました。傾聴ボランティアで家族のようになっている大島ます子さんは差し入れをくださいました。そんな励ましは疲労の限界にあった私たちを奮い立たせました。あの反対派の亀山繁さん(72歳)が鍬を持って来られた瞬間、みんなは目を真っ赤に泣きはらしました。

最後は自動車のヘッドライトで照らしながら、苗を植えました。帰途は遅くなりましたが、7人全員はやりとげた充実感で満ちていました。

その日を境に神戸からのボランティアは市民権、つまり農の仲間として迎え入れられました。180度変わりました。翌月、行ってみるとオタマジャクシ、ゲンゴロウ、魚もいました。利益追求に農地を酷使するのではなく、貴重な耕作地^{きゅうかん}を「休閑」させることによって、収穫ができています。「刈り入れた後に自然に実った穀物を刈り入れてはならない。剪定しないぶどうを摘み取ってはならない。地に完全な安息がなければならぬ」(レビ記 25:5)。田んぼは儲けのために略奪する市場ではありません。

たとえ一か月に一回しか農地に来ないとしても、作物は成長し、収穫できることを14年にわたり証明しました。つまり、化学肥料である窒素²⁰を土壤に供給し、液体窒素でつくる農薬による害虫駆除、殺虫剤²¹などを用いなくても、穀粒豊かな「復幸米」を秋に喜ぶことができてきました。

奥能登には、機構と同様、手作業で幾世紀も耕してきた白米千枚田^{しろよねせんまいだ}があります。

2022年には渡波の専業農家は2軒だけになりました。人口減少、農家の高齢化、消費者のコメ離れが急速にすすみました。幼稚園の園児たちと土を愛し、子どもたちと昆虫を見つけ出して見せ合いをする「時」はカイロス²²です。すべてがわかったわけではありませんが、日本の原風景を取り戻す

¹⁸ 拙稿『自然の回復、ひととの共生』(岩村義雄共 同上 33頁)。

¹⁹ 化学肥料に頼らず堆肥を主体とした土づくりによって、低農薬あるいは無農薬で作物を生産する。「有機農法(オーガニック)」である。完全無農薬無肥料のリング栽培を1989年に可能にした農家の木村秋則[1949-]氏も良い模範である。

²⁰ 地球の人口の約40パーセントがハーバー・ボッシュ法によって産出されたたんぱく質に依存して生きている。言い換えれば、530億人が人工的に固定された窒素に頼って存在している。人間の細胞そのものが、緑の大地ではなく、アンモニアを合成する灰色に広がる工場群の産物である。(『食糧の帝国』エヴァン・D・G・フレイザー&アンドリュー・リマス 藤井美佐子訳 太田出版2015年156頁)。化学肥料の多くは、「ハーバー・ボッシュ法(HB法)」による。空気中の窒素と水素を化学反応させ、アンモニアを合成。400~600℃、100~300気圧。化学肥料の大量生産を可能にした。過剰な成長は生態系内の種の多様性を低下させ生態系全体のバランスを崩すことにつながります。HB法は窒素と水素を化学反応させ1^トのアンモニアを生産するのに約933[㎡]の化石燃料である天然ガスが必要。

²¹ 『自然の回復、ひととの共生』(緒方俊一郎共 同上 11頁)。

²² クロノス $\chi\rho\nu\nu\omicron\varsigma$ は「継続している時間、一定の期間(長短を問わず)、時間的ひろがり、継続」。一方、カイロス $\kappa\alpha\iota\rho\omicron\varsigma$ は「永遠なるものがこの世と触れ合う時、この世の時間が一瞬切断される」と織田昭『ギリシャ語小辞典』は定義。小説家太宰治[1909-1948]は

には、自然を大切に思う精神態度が求められます。作物の遺伝子操作、農薬の後遺症、人災の原因を言うだけでは、既得権益集団である政・官・財・学が快適な権利を放棄することはないでしょう。

田んぼの植物、畦の生き物、石ころを「聖なるもの」²³とする見方が回復されねばなりません。「聖なるもの」とは、災害の度によくメディアに登場する「創造的復興」²⁴の「創造」なされた方に関係があると理解するのが自然です。なぜなら農地、自然、生き物は被造物²⁵だからです。被造物 **κτίσις** [ギリシア語 *クティシス ktisis*]は「創造(創設)されたもの、造られたもの、世界、制度」です。

c. 食をないがしろにする権力者(エクスーシア)

宮城県で農地を分けてもらい、米づくりに専念しようとしたこともありました。2013年6月18日、山本智也初代リーダーが渡波地域農業復興組合の阿部勝代表(82歳)に農地購入を申し込みました。断られました。阿部さんのご家族とは家族のように親しくさせていただいています。3人のお孫さんは独身女性です。神戸の若者たちも移住して定住を希望する者があります。農・林・漁いずれも後継者不足の地域です。阿部家も神戸から移住する若者を切望しておられました。

石巻市に移住してもよい、農業を愛している、20代の参加者たちは体力にも遜色はありません。三拍子そろっています。そんな若者たちの情熱にたちはだかった壁がありました。

1952年に制定された「農地法」²⁶です。戦後の農地解放と自作農創設が目的でした。農地所有や貸借の自由を認めない頑迷な法律です。「農地法」は、戦後三大改革のひとつとして制定されました。戦前の地主制度を解体、小作農に農地を解放し、自作農を認めるようになった画期的な法律でした。「農地はその耕作者みずからが所有することを最も適当である」と認めました。自作農の権利の保護を図る「自作農主義」を明確にしました。しかし、農地所有者は農民だけに制限してしまったのです。その結果、一般の人が農地で働くことができても農地をもつことが困難であったりします。やがて農業労働者の就労が撃滅していくのです。農地法による「所有」が壁になり、就農できない若者。耕作放棄地の「活用」へ法改正しないと、遊休地、荒れ地が日本列島を覆い尽くすことになります。

農地と農家のことは農水省が管轄し、他省庁にはわたしません。縦割りの弊害の典型のひとつと言えるでしょう。2001年4月から2006年9月まで5年半近く続投した小泉純一郎元首相[1942-]、「小泉・竹中²⁷ライン」は「構造改革」という旗を振り、国民の食生活の基盤である農業の領域の「岩盤」を打ち壊しました。地方をめちゃくちゃにしました。「社会の市場化」を推進しました。いわば日本社会をアメリカ合衆国に売り飛ばしたのです。ですから郵便局では日本のガン保険は扱われず、アメリカのガン保険が販売されています。かつては手紙、葉書、封書などは3日以内に全国津浦浦に配達されるのが当たり前でした。それが今では神戸で木曜日に投函すると、翌週の水曜日に先方が受け取るがあります。コツコツと500円コインを貯金箱で貯めておいて両替の段になると手数料を要求されます。札ならば無料です。うがった見方をすれば、貧しい

聖書に精通していた。キリスト者として救いの確信を得ずに、滅びの心中に向かった。著書『チャンス』には、「ひよんな事」、「ふとした事」、「妙な縁」、「きっかけ」、「もののはづみ」と言うが、言い得て妙。『太宰治全集第8巻』筑摩書房 1990年 86頁。

²³ 拙論『奥能登の風光と闘—第3次 1.1 大震災報告—』(「支縁のまちネットワーク」2024年12頁)。「わたしは無、あなたはすべて」という虚無性、「実に、被造物という立場に依存している自己の無価値化」の卑小さに気づかされる。『聖なるもの』(オットー 久松 英二訳 岩波文庫 2012年 46頁)。

²⁴ 拙論「自然を管理するスチュワード精神か、原始的自然を求めるとか」(神戸国際キリスト教会 2019年 6頁)。

²⁵ 拙論『共苦』被災地福島を訪問して(大阪朝禱会 2014年 1頁)。

²⁶ 農地法は、「農地はその耕作者みずからが所有することを最も適当である」と認めた。

²⁷ 竹中平蔵[へいぞう 1951-] 経済学者。小泉内閣の経済財政政策担当相、金融担当相、郵政民営化担当相(2001-2006)。在日米商工会議所(ACCJ) (The American Chamber of Commerce in Japan ACCJ) 郵政民営化ができることになった2007年、功労者竹中平蔵はACCJから「パーソン・オブ・ザ・イヤー」に選ばれた。いわば日本を米国の傘下に留め置くというより、米国の属国として米国案を政府、企業、関係機関に働きかけ続けた。ACCJは神戸市三宮西村屋の南隣のビル。

人からは両替手数料を収奪し、裕福な人たちは手数料がいらない不公正があります。

岩盤破壊によって、アメリカの穀物メジャーが高波のように日本列島に入ってきました。JA 全中²⁸が解体されました。金融・保険業界、種子、農薬の分野へとアメリカ製がまたたくまに席卷してしまいました。

日本はグローバル経済という米国が敷いてきたレールの上に乗遅れまいとしました。食料システム崩壊、農業弱体化、少子化により、日本の自然環境も修正不可能なところまで追い込まれてきました。「中流社会ニッポン」の言葉は聞かなくなって久しくなります。その代わりに、格差社会ができあがりました。

石川県生まれの環境経済学者寺西俊一^{しゅんいち}[1951-]名誉教授は、著書『農家が消える』のあとがきで述べておられます。「安倍晋三首相は……『子どもたちの世代、そして孫たちの世代に、美しい伝統あるふるさとを、そして誇りある日本を、引き渡していく』……明治以降における戦前日本の歴史は、国内的には膨れあがる軍事費の重圧下での国民生活の貧困化と疲弊化を余儀なくし、人権と自由の許しがたい侵略と抑圧をもたらすものとなりました。それはまた、とくにアジア諸国・地域への侵略行為によって筆舌に尽くしがたい多大な被害と犠牲を強いるものであったことを忘れてはならない」²⁹。

(2) 農・林・水産業従事者の少なさは同根

a. 農業を奇貨とする

奥能登は元々平地が少なく、農業に従事する農家も例外に漏れず、減少しています。癌となっている悪法「農地法」を解放すべきです。農地所有権、耕作権(農業権)もすべて民に門戸を開くのです。そうすれば、「農地を効率的に利用する」(改正農地法第1条)という最良の手段になります³⁰。

私たちのように農に対するやる気があっても、新たに参入できないように立ちはだかる農地法、しかし、それ以上に大きい壁があります。第一次産業の就農、就漁、就樵については、若者には、人気がないのです。理由は儲からないからです。カナダ人のジャーナリストのナオミ・クラインは『ショック・ドクトリン』³¹を書きました。政府がやっていることは、災害といった惨事の裏で、儲けを画策している、という視座です。農水省は農地関連法の改正にあたり「食料安全保障の根幹は、人と農地の確保」だと強調します。背景には、農地の減少に歯止めがかからないことへの強い危機感があります。農地面積は2000年に480万ヘクタールありましたが、農林水産省によると、毎年2万ヘクタール以上減り続けています。「農地は食料生産の基盤」と政府は言いながら、日本が輸入する農産物の生産に必要な農地は、900万ヘクタール以上になると試算されています。すなわち国内の倍以上の農地を海外に依存しています³²。

単刀直入に言えば、日本国内では第一次産業は切り捨てられています。

²⁸ 「JA 全中」一般社団法人全国農業協同組合中央会 日本のJA(農業協同組合[農協]の英語名称「Japan Agricultural Cooperatives」)グループの独立的な総合指導機関。2015年の農協法改正によって、全国の農協に対する監査権限を喪失し、一般社団法人に移行。

²⁹ 『農家が消える』(寺西俊一共 みすず書房 2018年 298-299頁)。

³⁰ 『食糧危機の未来年表』(高橋五郎 朝日新聞出版 2023年 224頁)。

³¹ 「ショック・ドクトリンとは、テロや戦争、自然災害など、ショッキングな事件が起きた時、国民がパニックで思考停止している隙に、通常なら炎上するような新自由主義政策(規制緩和、民営化、社会保障切り捨て)を猛スピードでねじ込んで、国や国民の資産を合法的に略奪し、政府とお友達企業群が大儲けする手法を意味する」『堤 未果のショック・ドクトリン 政府のやりたい放題から身を守る方法』(堤未果 幻冬舎 2023年 37頁)。「略奪」住民(非戦闘員)の財貨などをほしいままに奪い取ること。『新明解国語辞典』(第七版 2012年)。「略奪に空しい望みを置くな。富が増えても、心を奪われるな」(詩編 62:11)。

³² 『日本農業新聞』(2024年2月20日付)。

100年以上の歴史がある兵庫、宮城、岩手県立農業高校と、3.11をきっかけに交流を持ちました。2011年、2012年には大型バス2台で兵庫県立農学校(当時^{たかひさ} 玉木崇久校長)が生徒たちを宮城県石巻市渡波で津波による荒れ地を復旧するために学校行事として協働作業しました。震災復興の名義^{なとり}で、名取市の宮城県立農業高等学校の白石^{きくお}喜久夫校長も名取市から農業高校生を連れて来てくださいました。岩手県立盛岡農業高等学校も復興のために高校生たちのグループを参加させ、がれき撤去などの活動に従事してくださいました。宮城県^{こごた}小牛田農林高等学校は2012年に石巻市稲井で田んぼアートをする際、測量などを指導してくださいました。それぞれの農業学校の校長たちの真摯な農地復興に対する情熱のおかげで東北地方の農業高校生たちとも親しく会話することができました。宿舎で夜遅くまで話し合いました。しかし、当時ですら、農家の後継者である高校生たちの卒業後の進路には実家の農地を耕す志がほとんどなかったのには驚きました。たとえ農業学校で栽培、食糧自給率を上げる気力、増産する農業技術を身につけても、卒業後に稲に人生を賭ける高校生にはお目にかかりませんでした。若者は農業以外のキャリアを求める傾向があります。たとえば、園芸、植物、食品などの分野で自分のスキルや知識を活かせる機会をとらえようとしていました。ラジオ関西³³に兵庫県立農業高等学校(通称 県農)の門田舞さんに東北ボランティアの農報告、ご自身の抱負を語ってもらったりしました。自分の体験を将来にどのように生かすか、語ってくださいました。阪神間には産業構造や経済状況によっては、安定した収入を得る企業が身近にあります。娯楽を享受するアクセスなどの便利さはお天道様の影響を受けやすい労働への抵抗感をもたらしています。気候の影響で、豊作、不作の波があります。そのために、長時間農地で土壌を耕し、作物の栽培に適した状態にする作業に就くには大きな決心がいります。農業は「3K」(きつい、汚い、危険)が当たり前です。それよりスーツを着て、昇進の機会を得ながら月給を得るローテーションの方が格好が良いのでしょうか。

一般的には、土壌の適切なpH³⁴(ペーハー)の調整状態を常に気にかけて、農薬を散布したり、^{はしゆ}播種³⁵は長時間に及びます。収穫の手作業は楽ではありません。特定の野菜や果樹の場合、^{せんてい}剪定や^{てきしん}摘芯などの管理作業にかかりきりになります。効率をよくするために機械化となると、高額な費用、維持費、修理代などがかかります。収入を考慮するとそろばん勘定が合わなくなります。

機構は農についてはまったくの素人でした。私たちよりはるかに営農知識がある農業高校生に接しました。前途洋々とした10代の若者は農業に対する未練があってもぜいたく、レジャー、趣味を味わう会社員生活を選ぶ傾向があります。稲作農家の手取額は極端に低いからです。宮下一郎前農林水産大臣は「1時間当たりの農業所得(時給)は前年の181円が10円に減少して低い水準だ」と³⁷。稲作の所得は1時間当たり10円です。なぜ離農するのか、耕作放棄地の最多の理由は何か。農業では「食っていけない」からでしょうか。問題は、農高生、教師、農学校の打算的な思惟にはありません。政府が有機についてカリキュラムに入れないこと自体が最大の元凶です。経済産業省や財務省が定年後に自動車産業などに天下りしたり³⁸、またアメリカが口をはさむシステムが政策決定プロセスをゆがめています。日本政府はコメを毎年77万トン輸入しています³⁹。日本がアメリカから年間36万トンのコメを購入することについて、「日本は国家貿易として政府が輸入しているので

³³ 『ラジオ関西』(“時間です！古田編集長”2012年4月13日 午後4時半)。

³⁴ 水素イオン値のこと。値(あたひ)は0から14まであり、7が中性。

³⁵ 種を播くこと。

³⁶ 主に茎や枝の先端を取り除くこと。

³⁷ 『赤旗』(2023年11月16日付)。

³⁸ 『世界で最初に飢えるのは日本』(鈴木宣弘 講談社新書 2023年 62頁)。

³⁹ ミニマム・アクセス(Minimum Market Access)制度は、世界貿易機関(World Trade Organization, WTO)加盟国が特定の農産物について、一定量を最低限度輸入することを義務付ける制度。

満たすべき国際的責任が生じている」⁴⁰と政府は弁解をします。しかし、そのような取り決めは日米間のどの協議や、どんな合意に基づいたものかだれも答えられません。政策に透明性を求めます。なぜなら国内農業の保護、安定をもたらすどころか、畜産物と同じでアメリカの言いなりになっているからです。食料安全保障を確保できなくしている大きい要因だと筆者は思います。「田・山・湾の復活」を願う神戸国際支縁機構は政府に説明責任を求めます。

日本が直面している将来への大きなリスクを突きつけられたことにより、筆者は農業の奇貨⁴¹を得ました。

そこで私たちは、食糧自給率の向上を目指して、有機農に挑戦するように促されました。「ボクたちは、農地も分けてもらえない。正規の農業教育も受けていない。無農薬、化学肥料⁴²なしの手作業でやるしかない。千キロも離れており、毎日稲の成長を観察できない」。だが、「やりたい」。それだけの決意です。化学農薬、化学肥料や機械に頼らない農法を2011年から宮城県石巻市渡波で始めました。土壌性、水質の保全、環境の小さな生き物、春の小川、鳥などを隣人としてやさしく接します。学校教育、実験室、効率のよい機械では体験できない「真の体験」を味わいます。つまり、農を生物多様性、エコロジカルに問い直す「田・山・湾の復活」へと漕ぎ出したのです。地産地消です。

雨や風の音や匂い、草木が繁茂していく生命力は消えていいものだろうか。奥能登のもつ自然が放つリアルな質感を数値と式へ書き換えてきた科学的客観性⁴³という価値観を打破しなければと立ち上がりました。つまり、農地は利益を生み出す工場ではないのです。むしろ私たち農夫にとり恋人、友、家族の関係です。その「共生」の関係はコンヴィヴィアリティ⁴⁴ *Conviviality* です。「本来、この語は、人々が饗宴に集い喜びを享受するときの心境を示す用語のようである」と社会学者村田充八名誉教授は述べています。すると、大農場、大型機械、化学農薬を散布するドローン^{あせ}などとは無縁です。なぜなら田んぼの畦にいるすみれ、シジミチョウ、石ころ、景観⁴⁵などすべてが生きている権利を有する隣人だからです。

b.日本の農民

食糧と農は日本の枢要な問題です。飽食による食糧廃棄と子ども食堂に見られる貧困などの問題を含め、9・11テロ以降、新自由主義のアメリカの思う通りに世界、日本は振り回されています。異なる国々の文化、法律、経済環境に適応するマクドナルド、GAFA⁴⁶のAmazonなど多国籍企業と、自動車、石油・エネルギー、IT・テクノロジーなどのグローバル産業が世界を牽引している潮流により、日本も翻弄されています。海外の農産物が日本に押し寄せています。「お上^{かみ}」と言えば、国内の農業を犠牲にして、貿易自由化を推し進めます。農水省だけが外務省、文科省、厚生労働省から切り離されています。ですから農水省の「食糧自給率」を上げようとする声は無視されっぱなしです。

⁴⁰ 『世界で最初に飢えるのは日本』(同上 138頁)。

⁴¹ 利用すれば意外の利を得る見込みのある物事や機会のこと。

⁴² 害虫を駆除する殺虫剤や雑草駆除のための除草剤などを含めた化学薬品全体を農薬という。EUで禁止されているにもかかわらず、日本で使われているネオニコチノイド系農薬は環境保護ではなく環境破壊の典型。『戦争と農業』(藤原辰史 インターナショナル新書 35-38頁)。『自然の回復、ひととの共生』(岩村義雄共 22頁、保田茂共 36-41 同上 36-41頁)。

⁴³ 『客観性の落とし穴』(村上靖彦 ちくまプリマー新書 2023年 27頁)。

⁴⁴ 『戦争と聖書の平和』(村田充八 晃洋書房 2018年 294頁)。

⁴⁵ 『自然に対する人間の責任』(J・バスモア 間瀬啓充訳 岩波現代選書 1998年 198頁)。

⁴⁶ GAFA「ガーファ」とは、「Google」検索エンジンの運営、「Apple」、「iPhone」などのデジタルデバイスの開発、「Facebook」交流サイト(SNS)の運営、「Amazon」ネット通販サイトの運営。

もとはとえば、20 世紀に入り、新自由主義的な政策が「三位一体の改革」⁴⁷により、農山村地域の維持、保護、施策が抹消されたことにより里山・田園・里海消失に拍車がかかりました。

発展、開発、向上という上からの圧力によって政府は「農業と経済」⁴⁸志向を押しつけてきました。石巻に 20 町近くの農地を所有なさっています阿部勝さんは、2013 年、「経済」が大切だと筆者に強調なさいました。私たちは 4 畝^せを耕しています。どれだけ収穫できるか、年によって異なります。たった 4 畝でも収穫量、籾すりの量などの計算はできません。経済学はなりたないことは 3 年経ないうちにわかってきました。筆者が中学校の頃、社会科でみんな学んだものです。1955 年頃、三ちゃん農業⁵⁰、1965 年頃には、大規模農業開発プロジェクト、パイロットファーム、大型機械開墾へ移行するバラ色の青写真を注入されました。アメリカ、北海道の広大な農地こそ最も理想的な文明開化だと植えつけられました。窒素の化学肥料、農薬、農業機械の発達のおかげで、冷害などなんのその、オイルショック、三度の生乳生産調整⁵¹、ガット・ウルグアイ・ラウンド⁵²などを乗り越えたものだと信じ込んでいました。

2011 年に、渡波で農を始めた時、荒れ地を開墾し、水田にするためにがむしゃらに鍬をふるいました。教科書と現実は乖離していました。さいわいに地元の亀山繁&幸子さん、保原政美&和子さん、佐島かつ子&みさえさんたちの協力もあり、一度も不作はなく、園児たちと毎年収穫祭などを行ってきました。しかし、10 回以上、トトロ層づくり、田植え、稲刈り、天日干し、脱穀をして気づかされたことがあります。当初、収穫ができたのは、自分たちが手作業で、勤勉に取り組み、根性をもって神戸から通い続けたという精神力によるものだと自負していました。すると、戦前の満州報国農場のような勤勉強制主義⁵³と同じことになります。二宮尊徳⁵⁴を崇め、怠惰を憎む勤勉主義で荒れ地を開墾した軍国主義と一体です。勤勉を否定しているではありません。戦前は仲間とおしゃべりをしたりすると、天皇に悪いという呵責が緊張につながっていました。海外の農地を訪れるとちがいます。歌を唄い、会話をし、楽しく農作業を仲間と楽しみます。隣国の農地を収奪した日清戦争[1894-1895]、日露戦争[1904-1905]以降、農業中、現在と異なり、沈黙を強いられるようになりました。「耕す」cultivate から「文化」が派生しました。機械による「文明」ではありません。自問し出しました。渡波、相良、神戸市西区の友清の野菜栽培など、農地に立ち向かって 12 年。すべて

⁴⁷ 国庫支出金の廃止・整理合理化、地方交付税の見直し、税源委譲。2003-2006 年に国庫支出金と地方交付税を合わせて約 9 兆 8 千億円の削減。『市町村合併の歴史的検討』(宮本憲一「計画行政」第 41 巻第 2 号 2018 年)。

⁴⁸ フランスの経済学者であるトマ・ピケティ [1971-] は「資本主義で格差が広がっていく」と指摘。政府や竹中平蔵氏(脚注 27 参照)らは、さらに格差を加速させる新自由主義経済を進めると主張しました。そうすると日本もいずれ、アメリカのように「富裕層 1% 対貧困層 99%」という構図に移行する羽目になります。そうすると、「99%」の生活は黙殺するの、それともちゃんと暮らしを守っていくのか、具体的に明言すべきです。安倍前首相は「岩盤を壊す」と言っていました。現首相の岸田文雄(当時政務調査会長)氏も、2018 年 4 月 18 日に岸田派のパーティで「宏池会(岸田派)一丸となって岩を動かしていく」と訴えました。政治家安倍首相は「日本を取り戻す」とか、岩盤を壊すなど威勢のいいパフォーマンスを言いました。しかし、「新しい日本を築く」ことを求めているのは筆者岩村だけだったでしょうか。『ピケティ入門』(竹信三恵子 株式会社金曜日 2015 年 31-32 頁)。

⁴⁹ 一反の 1/10 の面積を示す農業用語の単位。1 畝の広さは約 99.1 平方メートル、坪数は 30 坪。その 4 倍にしかすぎません。約 100 kg の収穫しかありません。

⁵⁰ 農村から都会へ出稼ぎや就職により中学を卒業すると若者はいなくなり、農地は「じいちゃん、ばあちゃん、かあちゃん」が担い手になる。『NHK』(2023 年 2 月 12 日 NHK for School)。

⁵¹ 政府の「畜産クラスター事業」はコロナ禍で自粛により生乳需要が減少。2021 年大量の生乳廃棄のリスクもあった。単に牛乳の生産量を増やすだけでなく、「出口」となる牛乳需要を考慮すべき。「牛乳を搾るな」「牛を処分すれば一頭あたり 5 万円支払う」という通達は非道であろう。『世界で最初に飢えるのは日本』(同上 131 頁)。

⁵² 1993 年ガット・ウルグアイラウンド合意で輸入量が消費量の 3% に達していない農産物(日本の場合は米)には低関税での輸入機会を開いておくというもの。『長周新聞』(ちょうしゅうしんぶん 2024 年 1 月 7 日付)。

⁵³ 『農業労働問題の特色』(橋本傳左衛門(でんざえもん)『太陽』第 26 巻第 9 号 1930 年 122 頁) 農民は「暁に星を戴いて出で、夕に月光を踏んで帰る」。『農学と戦争』(藤原辰史 岩波書店 2019 年 110-111 頁)。

⁵⁴ 1881 年頃から小学校などに約 1 メートルの石造りの像が多く建てられた、薪を背負いながら本を読んで歩く二宮尊徳[そんとく 1787-1856 金次郎(自筆は金治郎)]は、21 世紀のスマホの時代になっても、岐阜市では約半数以上の小学校にある。江戸時代後期の経世家、農政家、思想家。農村復興政策は日本人の精神に与えた影響は大きい。

がわかったわけではありませんが、この国の農業に将来はないとわかってきました⁵⁵。かつては農家の方が必ず田んぼにおられた光景は過去のものになっています。10時や3時には、お茶っこの談笑が聞こえたものです。ここ東北だけでなく、九州も他の地でもお百姓さんの姿は消えています。今の農家の人たちは自分の農地がどこかわからないのが普通になっています。なぜなら農業をやめているからです。コンバインなどの機械は高すぎます。おまけにロシア・ウクライナ戦争のあおりで機械のメンテナンス、油代、肥料は2倍以上になっています。コメ1俵(30キロ)で5千円にしかならない売値では赤字です。亀山繁さんの息子や娘は言います。「お父さん、田んぼを残して死んだら困るよー」と。農地も売れない。かつて1反600万円したのが、今では35万円です。苦勞してコメをつくっても採算が合いません。米の単価を一時的に上げてでも解決できません。酪農にしても、乳牛からしぼった乳を捨てています。一方、同じ量の乳製品をアメリカから輸入しています。自動車などの製品を輸出するために、第一次産業の農林漁は切り捨てられています。

もはや農家の方がご自分の田んぼで米をつくることはなくなりつつあります。依頼して代理の方が取り組み、1俵だけ分けてもらうことも珍しくありません。どこの農家も今は人任せになっています。一年の内、3,4日しか使わない田植え機、コンバイン、トラクターを個人の農家が購入するより、専門の業者に委ねるしかない現実が農業を衰退させる原因のひとつになっています。修理など維持費が高くつきます。個人では赤字です。裏作として麦、そば、豆類を造っても売れるとは限りません、暗渠^{あんきよ}も10年でやり直し、どうしても行政からの補助に依存する体質でやってきたのですが、もう限界です。ドローンで殺虫剤をまいてカメムシ被害など対策は便利、快適、簡単になったようで、長い目でみると、肥沃だった大地が痩せ細っていくリスクもあります。日本人は勤勉に働いて、米国の農家を助ける犠牲構図が戦後からできあがっています。

高齢化した農家には、日本政府の貧困な農業政策に抗う元気も残っていません。

c. 「創造的復興」から「生活復旧」

奥能登の景観は異なります。青い空、コバルトブルーの海、青い山脈に立つと別世界です。機構の会計水谷弥生さんは、「能登の海の青の色はちがいますね」と事務所で言われました。JR朝霧駅前の明石海峡の海の青色⁵⁷と異なるのです。

事務所のメンバーの大半は阪神・淡路大震災で被災しました。29年前の言語に絶する被災体験を昨日のごとく覚えています。小地震であっても、恐怖がよみがえってくると語り合います。

阪神・淡路大震災当時、メディア報道には貝原俊民^{かいはらとしみ}[1933-2014]兵庫県知事がさかんに語る「創造的復興」の言葉が乱舞していました。ボランティア元年と言われるその時から、災害のたびに国、県などが「創造的復興」と発しました。1995年の大地震以降、新潟県中越地震(2004)、東日本大震災(2011)、丹波水害(2014)、鬼怒川水害(2015)、熊本・大分地震(2016)、松末(2017)、垂水^{たるみ}(2018)、丹波、真備、小屋浦、市原水害(2018)、厚真地震(2018)、鋸南、布良の台風15号(2019)、佐賀水害(2019)、村上地震(2019)、熱海(2021)、球磨川(2020)、北九州水害(2023)、能登(2024)。ひとつの世代⁵⁹を約30年とするなら、災害は忘れたころではなく、忘れる前に日本各地を襲いました。

行政は「創造的復興」と称して、関西国際空港2期事業、地下鉄湾岸線、大規模な区画整理事業や六甲道や新長田の副都心計画(大規模再開発事業)など大型プロジェクトを優先させました。前年

⁵⁵ 拙稿「第143次東北ボランティア報告 宮城県石巻市渡波 2013年6月」Facebook 2023年7月26日。

⁵⁶ 水がたまり、排水性が悪い農地に設置する。一般的には、地下70センチ程度、およそ10メートル間隔で排水管を埋めて排水路につないで水はけをよくしている。『日本農業新聞』(2023年6月19日付)。平均して、1m当り10,000~25,000円要する。

⁵⁷ 日本語には元々「緑」色がなく、青虫、青いりんご、青い山、青菜と言いつつ。能登と明石海峡の海の「青」は微妙に異なる。

⁵⁸ 垂水(たるみ)災害(2018年7月6日) <https://www.youtube.com/watch?v=Ki0uUXhrr4Y>

⁵⁹ 拙論「民主主義の限界」(関西大学 2023年1頁)。

の1994年4月に策定していた第4次神戸市基本計画に依拠して、前の計画を実現に至らせるために、復興予算や国から資金を、多くの反対を押し切ってハコモノ造りに使いました。「創造」は本来、無から有を生じること⁶⁰を意味しています。今まで住民の反対などで実現できなかった計画を、焼き直したにすぎません。1995年1月26日に、貝原知事は、口をすべらしました。「『渦中に福あり』』といって、今までやりたいと思ってもできなかったのに、震災で21世紀都市を作ることが可能になった⁶¹、というわけです。役人の名声欲を満たした証しではありませんか。

関東大震災[1923(大正12)]の際、後藤新平⁶²[1857-1929]東京市長は「復興」という旗印で東京市民だけでなく、日本中の民に覚悟を迫りました。「復旧」ではなく、東京復興計画を立案しました。「理想的帝都建設の為の絶好の機会」となりました。まさに「創造的」であったのです。街路計画(50メートル以上の幹線道路)、緑地、下水道などは日本再生の先鞭となりました。後藤の足跡は、後の「復興計画」のモデルになったと言っても過言ではありません。阪神・淡路大震災然りです。

復興には光と闇があります。陣頭指揮をとる権力者にとり、夢を追いかけるロマンがあります。一方、家族、家屋、仕事を失った被災者は「復興」より、元の暮らしに近づきたい、帰りたい、返してほしいという「復旧」の願いがあります。「創造的復興」と「生活復旧」のどちらを優先すべきでしょうか。「あなたがたはどう思うか。ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか⁶³」、というキリストの言葉は人類に対して、何を優先すべきかの世界観に目を開かせます。

古今東西、時の権力者は、貧困、戦争、病気の蔓延に対して、回復の努力はします。しかし、日本では権力者が責任を自らとる例は極めてまれです。政治の世界では皆無と言ってよいでしょう。国の頂上がそうであるならば、組織体の長は失敗、不始末、人命の喪失に対しても難を免れてきた歴史のアイロニーがあります。

阪神・淡路大震災の被災を体験した神戸市在住の市民として、「創造的復興」と称して、為政者、学者はバラ色の未来構想に東奔西走したことでしょう。予算を中央からもらい受けることだったり、ハコ物をつくるために、土地所有者、業者、契約などに狂奔したことはわかります。災害大国と言われる今日、「創造的復興」より「生活復旧」が無慈悲に捨象されている消滅集落を能登の珠洲市で見ました。水道が復旧していません。あれから約30年、各地の「防災」、「ハザードマップ」、「避難」など旧態依然としたままです。珠洲市大谷地区の真宗大谷派廣榮寺は1.1大震災で御堂もなぎ倒されました。道路が寸断され、隆起により船も接近できません。1月16日まで陸の孤島となりました。住民300人がいましたが、大谷小中学校で卒業を希望する児童と家族、および高齢者10人弱が残りました。1月28日に大廣永世さん(55歳)の遺体が発見されました⁶⁴。5年ほど前に

⁶⁰ 拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか—第2章—」(WCRP 平和大学講座 2022年 21頁)。プラトン[紀元前427-347]著の『テアイテス』によると、人間が造られた材料を用いてではなく、永遠の存在していた物質でデミウルゴスが世界を創造(ラテン語クレアチオ・セクンダ)することである。しかし、ユダヤ教、キリストの道は「無から有を生じる」(ラテン語クレアチオ・エクス・ニヒロ Creation ex nihilo <無からの創造>)を信じてきた。“Biblia Sacra Vulgata” R. Weber Deutsche genus”

Bibelgesellschaft 1994 p.1494. “peto nate aspicias in caelum et teret intellegas quia ex nihilo fecit illa Deus et hominum (2 Macchabe 7:28) fecit = creavit creasse (不定動詞形の定形動詞は、creavit。『ウルガタ訳聖書』の外典第二マカバイ記 7章 28節のラテン語 ex nihilo fecit illa は「無から創造した」(岩村訳)から定着して用いられるようになった。

⁶¹ 「地域づくりの社会教育」(組原洋 沖縄大学地域研究所 1995年度第5回研究発表会 33頁)。『大震災復興への警鐘』(内橋克人・鎌田慧 岩波書店 1995年 7頁)。

⁶² 後藤新平[1857-1929] 医師、官僚・政治家。関東大震災当時の内務大臣。「都」になる前の東京市長。「理想的帝都建設」。台湾総督府民政長官。南満洲鉄道初代総裁。ボーイスカウト日本連盟初代総長。『大震災 100日の記録』(貝原俊民 ぎょうせい 1995年 144-145頁)。

⁶³ マタイの福音書 18章 12節。

⁶⁴ 『文化時報』(2024年2月20日付)。『読売新聞』(2024年1月28日)によると、“父親は「呼び戻して寺を継がせなければ、こうならなかったかもしれない」と悔いた。”

父親の住職を引き継ぐために京都から自坊^{じぼう}へ戻られました。地域の若手として、地元の公民館長も兼務しておられ、集落のリーダーとして活躍しておられただけに地元の失望感は計り知れません。

大谷地区の二次避難なされた方たちが「棄民」になるか「帰民」として復帰するか⁶⁵問われています。さしずめボーイスカウト日本連盟初代総長であった後藤新平なら東京市に市民が帰還する青写真を前提に復興に着手したでしょう。しかし、阪神・淡路大震災の時の「創造的復興」に携わった五百簾頭 真^{いおきべ まこと} [1943-2024]⁶⁶、下河辺 淳^{しもこうべ あつし} [1923-2016]⁶⁷、貝原俊民たちは既存のヴィジョンを活用し、インフラ整備、産業振興、開発が先のニンゲン不在の政治手法だったと、筆者は在住の一市民として思わせられました。なぜなら災害があるたびに地方の村は消えていきました。人の流失も止まらない悲哀を共苦してきたからです。

文明のテクノクラート路線からユーターンし、民中心の路線へ転換しろ、と死者は叫んでいます。いずれにしましても、海に囲まれた日本列島、どんなに軍備を拡大、核装備しても海岸線にある原子力発電所を守れません。国の安全は「食料安保」にかかっています。そのことについて郷土を愛するならば覚醒しなければなりません。

(3) 生活復旧が急がれる

a. 地震・津波・隆起が襲う地に原子力発電所は危険

災害を押さえ込めるといふ科学技術の神話やおごりはなかったでしょうか。志賀原発の北9キロ、活断層のずれが確認されました⁶⁸。危険です⁶⁹。

科学技術の神話やおごりから脱却できていません。

2014年、ジャーナリストの北村敏泰氏、学者や住職たちと共に機構は福島第一原子力発電所のもたらした被害を視察するために福島県に入りました⁷⁰。

約半世紀にわたり反原発と非核を訴え続けた宝鏡寺^{ほうきやうじ}を五百井正浩理事と2020年に訪問しました。私財を投じて建てた「伝言館」には、第五福竜丸に降った「死の灰」などが展示されています。浄土宗故早川篤雄^{とくお} [1939-2022]住職から、戦中・戦後の貧しい子ども時代を経て、人生の大半を

⁶⁵ 『棄民』と『帰民』を分けた創造的復興—日本の災害復興を考える(山中茂樹 関西学院大学災害復興制度研究所 2012年 80頁)。

⁶⁶ 五百簾頭 真 政治学者、歴史学者(日本政治外交史)、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長、防衛大学校長。解決できない袋小路で迷った時、五百簾頭氏なら剛速球で突破する指導力があつた。能登半島地震を遅々として救済できないことに対して、3月6日に亡くなる2週間前に「住民の合意が得られるよう行政は財源や事業の進め方などの情報を提供すべきだ。能登でも話し合いは早く始めた方がいい」とインタビューで語った。『毎日新聞』(2024年2月17日付)。21世紀の文明社会を希求し創造することこそが、Hem21(ひょうご震災記念21世紀研究機構 Hyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Institute)の前向きな課題だと紹介。21世紀の日本人が襲撃されるかもしれない多様な災害を一つ一つ正確に記述し、防災・減災の術を示す、と政治主導のもとでの専門知をゴリ押しした。日本学術会議観では時の政権と異なる異見をもった豪傑であった。ローマ・カトリック教会信徒。

⁶⁷ 下河辺淳建設官僚。日本の国土計画立案の多くに関与。工学博士。「開発天皇」と称され、地方にコンビナート(企業集団の一形態)や農業基地を網羅した。「計画とは『こうなるべきだ』と信念を具体化するものだ」と強弁。『読売新聞』(2023年3月24日付)。

⁶⁸ 志賀原発でも活断層が見つかった。ところが、最近、活断層でもだいたいじょうぶと専門家でもだいたいじょうぶと専門家の証言をとりつけている。原発立地・地震規模予測の研究者では相違がある。原発建設時には未発達だった学問(変形地形学など)のため「活断層」に注意が払われてこなかった。建設事業者の活断層の調査結果により、過小評価、見落とし、甘さについて権力者は責任がある。『原発と活断層—「想定外」は許されない』(鈴木康弘 岩波科学ライブラリー 2013年 11-13頁)。日本地理学会災害対応チームの調査で、分かった。震源に近い石川県志賀町で「富来川南岸断層(とぎがわなんがんだんそう)がみられる地表のずれやたわみが長さ3キロ以上続いているのが見つかった。『北國新聞』(2024年1月16日付)。「志賀原発直下活断層か 保安院検証 国、見落としの疑い」『読売新聞』(2012年7月17日)。

⁶⁹ 通称産業省資源エネルギー庁は1995年の阪神・淡路大震災の時、説明。「建設用地を決める際には、徹底した地質調査を行い、地震の原因となる活断層を避けています」とチラシなどを作成して市民を安心させていました。『朝日新聞』(2023年4月19日付)。

⁷⁰ 福島原発から20キロ離れた南相馬市で、地元農夫は除染作業をして本格的にコメ栽培を実験的に始めました。しかし、実証栽培米は1キロ当たり100ベクレルを越えていました。『福島民友』2014年7月15日付)。基準値を超え、食べると被曝する放射性セシウムがあります。拙稿『朝霧』(「共苦」2014年10月1日1頁)。『中外日報』(2013年9月26日付)。

福島県農民連の根本敬^{もとたか}会長は、「風評とは根も葉もないことをいう。我々の農作物は根にも葉にも放射性物質を付けられた。実害だ」と2015年4月13日、福島で開かれた国際シンポジウムで訴えました。(拙稿季刊誌『支縁』No.13 2015年1頁)。

原発問題に格闘してこられた体験を語っていただきました。“世界が戦争の惨禍に苦しんでいる今こそ平和憲法で過去を反省し、9条を頼みます”，とおっしゃった声が耳に残っています⁷¹。

法政大学の社会学の松下峻也教授⁷²は、ビキニ事件について、福島原発事故と放射能汚染を経験した日本社会における差し迫った問題と論じていました。事件の第一報である『読売新聞』(1954年3月16日付)では、「邦人漁夫、ビキニ原爆実験に遭遇」、「23名が原子病」、「焼けただれた顔」という見出しでありました。帰国し、焼津港に係留された第五福竜丸の写真が掲載されていました。被災船員が社会的、政治的な抑圧のもとで口を閉ざしてきました。

ビキニ水爆実験では「第五福竜丸」以外に多くの被災船が存在したことはあまり知られていません。しかし、水産庁では延べ992隻(実数550隻)の被災船を把握していました。被災船の約3分の1は高知船籍でした。

翌年の1955年、日米両政府は、見舞金200万ドルで政治決着させます。以降、マグロの検査は中止されました。第五福竜丸以外の船員の被災記録は公開されず、健康状況が追跡調査されることはありませんでした。

b. ビキニ諸島での被災者の怨念

私事で恐縮ですが、筆者の家には画像の映るテレビはありません。ゆずってほしいから申し上げるのではありません。ですから新聞報道で知らされた内容を確認するために後日、パソコンなどで放映の断片を確認するのが通例です。リアル感を知らせるのに動画のもつ威力には圧倒されます⁷³。

NHKは2024年3月8日、放映⁷⁴しました。日本から南東に4600キロ離れたマーシャル諸島。アメリカは1946年～1958年、ビキニ諸島⁷⁵では太平洋核実験場となりました。ビキニ環礁とエニウエトク環礁で計67回の核実験 Nuclear test, ビキニでは23回の水爆実験 Hydrogen bomb test を行いました。最も規模が大きかったのが、1954年3月1日にビキニ環礁で行われた水爆実験『ブラボー』です。広島に落とされた原爆の1000倍もの威力だったとされています、と。

1954年3月1日、「第五福竜丸」乗務員23人全員が被曝⁷⁶。16人のうち、無線長であった久保山愛吉氏(同年9月に50歳死亡)を含め、12人ががんと診断されます。「第五福竜丸」が帰国する直前に、原子力の平和利用、すなわち原子力発電所設立に当時の内閣は2億円以上の予算を決議し、「民に陰謀を巡らし」、国会で承認にこぎ着けていました(詩編 83:4)。

第4次1.1大震災ボランティアから帰ってきて筆者の所属する「みんなで考える9条・明舞の会」の配布物が届きました。その中に「ある方は長崎で被ばくし、その後高知でマグロ漁船に乗り、ビキニで被ばく、釣ったマグロは捨てさせられ、絶望して入水自殺、……高知278隻だけではなく、宮城県132隻、三浦1558隻、千葉17隻などがビキニ環礁で操業」⁷⁷、と神戸市垂水原水協の今井正子

⁷¹ 在野の目線で事故の被害や教訓を伝えるのが特徴。活動してきた立命館大学の物理学者・軍事学者・平和学研究者安齋育郎(あんざいいくろう)名誉教授[1940-]も京都から駆け付け「ホームページを作り、世界にも発信したい」と協働しておられた。

⁷² 「アーカイブ化されたテレビ番組が描くビキニ事件」(松下峻也 J-STAGE 2018年92巻145-163頁)。「アーカイブズ(archives)」とは、専門職員であるアーキビスト(archivist)が、たとえば、詩人宇梶静江[1933-]さんについて「さまざまな記録資料を保管し、みんなの財産として後世に伝えていく施設のこと」(公益財団法人 アイヌ民族文化財団)。

⁷³ 拙論「北朝鮮のリアリティー——良心が疼く——」第3次朝鮮民主主義人民共和国訪問報告 エラスムス平和研究所 2017年2-3頁)。
<https://kicc.sub.jp/wp-content/uploads/2019/02/391db2a42e8bdcc4a2671ed9cc36afe3.pdf>

⁷⁴ <https://www.nhk.or.jp/kochi/lreport/article/004/08/1>。岩村が説明補足。

⁷⁵ 1945年8月15日以前の治下南洋諸島で、1946年7月1日、アメリカ合衆国による第二次世界大戦後の最初の核実験(原子爆弾実験)。1954年3月1日のキャッスル作戦(ブラボー実験)では海底に直径約2キロメートル、深さ73メートルのクレーターを形成。1958年まで23回の核実験(原子爆弾および水素爆弾)はマーシャル諸島共和国の環礁で実施。日本海軍の戦艦「長門」やドイツ海軍の重巡洋艦「プリンツ・オイゲン」などを標的に実験。

⁷⁶ 日本の被曝船は1000隻、被曝者1万人『東京新聞』(2020年8月16日付)。「ビキニ水爆実験被災実態調査のための資料集 No.1& No.2」。(高知県ビキニ水爆実験被災調査団)。

⁷⁷ 『垂水革新懇』No.118(今井正子共 平和・民主・革新の日本をめざす垂水の会 2024年3月2頁)。

事務局長から聞くことができました。「第五福竜丸」は、練習船「はやぶさ丸」として私たち機構が毎月訪問している館山市で、11年間東京水産大学の練習船⁷⁸となっていました。

ですからアメリカ政府も日本政府もわずかな見舞金で幕引きを凶ろうとしました。謝罪、救済措置もなく臭いものに蓋をする不実です。「不誠実な世代」です(詩編 78:8)。被爆国にもかかわらず、日本政府は大国の言いなりです。しかし、21世紀は、「グローバルサウス」⁷⁹(南半球を中心とする新興・途上国) インド、インドネシア、トルコ、南アフリカなどがこれからの世界の台風の目になる時代です。

国連、超大国、とりわけ米国&英国が紛争、食糧不足、病気を抑止できない時代からの脱皮を祈りたいです。

c. 珠洲原発

北陸、中部、関西の電力会社が珠洲原発構想を打ち出したのは1976年でした。1.1大震災(M7.6)の地震の規模は阪神・淡路大震災(M7.3)、熊本・大分地震の本震(M7.3)より上回っています。珠洲原発が稼働していたならと仮定し、メルトダウン、被ばくを想像しただけでも身震いがします。震源から離れているとはいえ、志賀原発ではどんなダメージがあったでしょうか。

珠洲原発は2003年凍結されました。圧倒的に保守色の地域でどんな反対運動が展開されたか、内浦(富山湾側、能登半島反対側は外浦)の三崎町寺家の出村正廣^{まさひろ}[1947-]さんから聞いた内容を報告します。

出村さんは18歳で石川県立宇出津高等学校(後に石川県立能登高校)の水産課を卒業されてから、貨物船の会社に就職されました。山下新日本汽船で神戸港にも立ち寄られ、海外へも見聞を広められました。カリブ海を通過してニューヨークへ向かう航路で、ブリッジで仲間と会話していた時、耳にされたことがあります。「正確には覚えていませんけれど、核爆発によってたくさんの放射能汚染が尾を引いている。核がもつでもそんな情報はアメリカ政府も、漏れないようにしている」という衝撃の陰謀を耳にされました。その経験は出村さん自身が危険な放射能をおらが村に持ち込まないという覚悟につながりました。1987年2月会社を辞め、地家に戻られました。4月に父が急逝でしたが、間に合いました。父親好^{よしみ}[1914-1987 享年71歳]さんも地域に原発が建設されることを憂慮され反対されていました。なぜなら1975年に珠洲市議会は好さんたちが知らない間に、『原子力発電所、原子力船基地等の調査に関する要望書』を国に提出。翌年の1月には、中部・関西・北陸3社が、珠洲原発構想を発表しました。核の恐ろしさをアメリカでの風評被害を正廣さんから聞いておられたこともあり、反対でした。1978年、「珠洲原発反対連絡協議会(略称:反連協)」が結成され、賛成派と二分されました。市長選挙、市議会選挙も一進一退でしたが、1983年には、市議会は圧倒的に賛成派で占められ、反対議員はゼロになりました。電力供給に火力発電所の立地は困難だから、行政は原発誘致に傾きました。1986年にチェルノブイリ原子力発電所事故⁸⁰が発生したにもかかわらず、全員与党の市議会は「原子力発電所誘致」を決議します。寺家選出の議員も自民党であり、推進派です。そんな風に追い込まれている反対派にとり、厳しい時に正廣さんは寺家に戻ってこられたわけです。

⁷⁸ 1956年7月、三重県伊勢市の(株)強力造船所で800万円をかけて改造。廃船処分になるまで、館山港を母港として、延縄漁や、棒受け漁業(海中の敷網に、集魚灯でサンマを誘導して集めてすくい獲る漁法)及び航海運用学の実習、海洋観測、漁業調査の実習船として駿河湾や八丈島へ航海。『東京都立第五福竜丸展示館』(東京都江東区夢の島2-1-1 電話 03-3521-8494)。

⁷⁹ BRICSの5カ国(ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ)の国内総生産(GDP)は、物価水準を考慮した購買力平価ベースでは主要7カ国(G7)より大きい。『日本経済新聞』(2023年2月26日付)。

⁸⁰ チョルノービリ原発事故発生 1986年4月26日 「敵である友、友である敵～戦場ウクライナからの報告～」(佐々木美和 日本基督教団神戸栄光教会「平和聖日」2023年11頁)。

1989年1月には、寺家自体も二分している中で正廣さんは反対派に身を置いて行動されました。「故郷を愛し自然を守る会」を結成し、林珠洲市長に面会を求めます。聞き入れられず、市役所で座り込みを40日間なさいます。市側は市民を排除するために機動隊導入という荒療法も辞さずでした。2ヶ所の珠洲原発計画の反対運動が活発だったのは高屋地区と寺家地区です。高屋のリーダーは円龍寺の住職・塚本真如さん(78歳)です⁸¹。寺家は正廣さんでした。集会・デモのほか、「反原発オークション」「反原発風船とばし」「反原発リサイクルバザー」「講演会」など、多彩な催しが、市民グループなどによって企画・実行された。選挙の段になると、原発賛成派の立候補者を選ぶ問題がありました。「こりゃ田舎の特徴なのか知らんけども立候補の偉い人が来るとね、喜んでしもうてね、その人の抱いている腹の中を考えずに名前を書いてしまう」有り様でした。ですから何度もチラシ戸別配布、ミニ集会を開きました。1990年寺家で市役所は土地先行取得が発覚しましたので、「自然を護る地権者の会を結成し、土地共有化基金募集開始しました。」「高屋地区が、関西電力と北陸電力。寺家は中部電力と北陸電力が住民に攻勢をかけていました。」「原発建設予定地は住宅地ではなく、資産価値が高くはなかったの、みんなで共同所有にし、固定資産税もそれぞれ負担するようにしました。」「願い年月の運動していますと、米国スリーマイル島原子力発電所事故(1979年3月28日)、チェルノブイリ原子力発電所事故、高速増殖炉『もんじゅ』ナトリウム漏れ事故、東海村の動燃再処理工場で火災・爆発事故などみなさん学習していきよりました。」「核の脅威についての知識が増し加わってきました。すると徐々に原発賛成の人は減ってきますし、電力会社も当初の頃とちがって強い態度で立ち退きなどを言えなくなってきました。」「新聞も反対派の声をよく取り上げてくださいました。読売新聞は別として、(笑)。」

「1993年の市長選では推進派の林候補が当選しましたが、最高裁は選挙の管理執行がずさんという理由で、無効になったりなど、推進派の上の方もころころと変わりました。」「1998年の名古屋高裁金沢支部で能登原発運転差し止めとなった時など、「原発は負の遺産」「国の安全審査は万能ではない」ことが認定されました。2003年12月5日、珠洲原発計画「凍結」が発表されました。

権力(エクスーシア)に近い人ほど原発建設に賛成します。国の原発政策について、佐藤栄佐久[1939-]前福島県知事は「安全よりも(原発の)運転継続を優先」と応えたりしました⁸²。

日本でも抗えば国による人災を防ぐ先例となりました。女川原発2号機(宮城県女川町、石巻市)も再稼働をすることになりましたが、あきらめたら子どもたちに顔向けできなくなります。

<結論>

「ゴジラ-1.0(マイナスワン)」が今年3月10日に、米国アカデミー賞を受賞しました。第二次世界大戦から帰還した元特攻隊員が主人公です。それは間違いです。ゴジラが主人公です。ゴジラは自分たちの平和な地を略奪した人間に復讐⁸³するかのようです。ゴジラの原作者は復讐のためにたちあがるように描いたかどうかはわかりません。

東日本大震災勃発時、石原慎太郎⁸⁴都知事が「津波を利用して、我欲を洗い落とす必要がある。やっぱり天罰だと思う」⁸⁵と述べたことに対して、セミナーで高慢にも反論しました⁸⁶。能登に足を

⁸¹ 『毎日新聞』(2024年2月2日付)。

⁸² 『JIJI.COM』(2023年8月21日)。

⁸³ 原作者である香山 滋[かやま しげる 1904-1975]は探偵小説、幻想小説が多い。「偉大な大人の童話作家」と評される。本名山田鉦治(こうじ)。『沈黙の復讐』(講談社倶楽部 1949年)などがある。

⁸⁴ 石原慎太郎[1932-2022] 作家、環境庁長官、運輸大臣。2003-2012年東京都知事在位。

⁸⁵ 『日本経済新聞』(2011年3月14日付)。

⁸⁶ 拙論「なぜ、今、死を考えるか」(KCC講座 2011年4月11日 3頁)。

踏み入れ、倒壊した寺社、民家、学校で炊き出しなどのボランティアを通じて、今となってはゴジラという「悪」⁸⁷を用いて、被災で苦悩していた慟哭を無思慮に踏みこみつけたのではと。

1956年、筆者が小学校の3年生の時、水爆実験で目覚めたゴジラが日本を襲う映画、またラドンを観ました。その夜、卵から孵化する場面が夜の暗さと相まって、怯えた印象はいまだに忘れられない恐怖でした。まだAIもない時代でしたが、特撮技術の迫力は筆者を縮み上がらせる効果がありました。母親無畏子は朝笑っていました。ガキ大将があきれたわ。うなされているんだから。

日本人にとって遠い昔の戦争がロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・パレスチナ戦争を通して、身近に迫ります。戦争を知らない現代の日本人に考えさせるインパクトがあります。

元旦、そして能登半島地震による原発の不安が新年早々ひとびとの晴れやかな気分を一掃しました。珠洲市宝立町春日野、三崎町寺家はゴジラが襲来し、踏み潰したたかのように、見渡す限り、破壊されていました。あれから4度足を踏み入れる奥能登、1月6日(土)、最初に見た光景のままです。ゴジラが暴れ回りぺちゃんこになった家々、山中の四方八方脱出できなくなった集落、踏み倒されて曲がった電柱、たわんだ道路、岸に打ち上げられた船など背筋が寒くなります。

第二次世界大戦末期、米国はオッペンハイマーのマンハッタン計画⁸⁸により原爆を開発し、1945年8月6日、ヒロシマ、9日に長崎に投下し、日本に無条件降伏を迫りました。日本は被爆を体験した世界でも比類のない悲惨さを共苦した国です。日本のメルトダウン(炉心熔融)を契機に、ヨーロッパではドイツなど脱原発にかじを切りました。アジアでは台湾がはじめてです⁸⁹。

日本は狭い場所に33基⁹⁰もの原子力発電所があります。海洋国家である日本列島の半島にある原発に狙いを定めて某国が攻撃したら、防ぎようがありません⁹¹。日本全土は焦土と化します。

何もたいしたことはできていません。しかし、災害現場に飛び込んだゆえにはっきり申し上げることができます。能登は、3.11、熊本・大分地震(2016年4月14日、16日)より被害は深刻です。「のと鉄道」、主要道路である国道249号線、仮設住宅も県全体で千戸にも届きません。水道復旧は遅れています。3ヶ月を迎えようとしているのに簡易トイレの生活を余儀なくされています。水道復旧の見通しが立っていないからです。下水管の復旧と浄化槽への切り替えが頓挫しています。被災査定の不届、解体、行政からの支援も「申請主義」という日本特有の体質も仇になっています。被災者がもの申さない限り、面倒も見てもらえません。過疎、高齢化、少子化の地域で独居の不遇の人には最高300万円の被災者生活再建支援法の対象が「世帯」優先であるために与ることができません。二次避難で金沢方面に行ったきり戻ってこられる兆しが見受けられません。ぼつりと一軒だけの家のために100メートル以上の地下の下水管を復旧するかどうかの頂上判断がつかない地域ばかりです。生活インフラは国、県、行政が本腰を入れないと解決できないでしょう。

30年近くの国内外の被災者との息づかいのやりとりで何が安心をもたらすか体感してきました。「暗闇と死の陰に座している者たちを照らし 我らの足を平和の道に導く」スピリチュアリティです(ルカ 1:79)。こころの支えです。ある人の場合、家族の助け合う絆、自分たちの祖国に相当する

⁸⁷ 拙論「春学期の『現代キリスト教弁証学』」(中央聖書神学校 2023年5頁)。

⁸⁸ 拙論「共苦」―被災地フクシマを訪問して―(同上4頁)。マンハッタン計画のJ・ロバート・オッペンハイマー[1904-1967]は、ニューヨーク生。ユダヤ人。ハーバード大学卒業。第二次世界大戦中マンハッタンで原子爆弾製造。ロスアラモス研究所長。原子力委員会委員長。原爆の父。水爆開発に異議を唱える。「罪を犯したなら、もう二度と繰り返すな。過去のことについては、乞い願え」と聖書のシラ書にあるように、人間は自由意思によって悪の道に走ることもあり得る。残りの人生はその赦しを乞うものだ(シラ 21:1)。しかし、物理学者はともすると研究成果を試してみたい。先導した者が悪行に気づいたとしても、いったん罪跡の轍があるとダムが決壊のように元には戻れないのと同じなのではと筆者は考える。「出かけて行って同じことを繰り返すなら彼の祈りを誰が聞き入れてくれるだろうか。身を低くしたことに何の益があるだろうか」(シラ 34:31)。パン種は広がった。極東の能登にまで。

⁸⁹ 『京都新聞』(2017年1月12日)。

⁹⁰ IEEK(国際環境経済研究所)によると、2023年10月時点で、日本国内における稼働可能な原子力発電炉は33基ある。

日本の原子力発電所マップ 2023年版 <https://www.nippon.com/ja/japan-data/h01752/>

⁹¹ 『中小企業家しんぶん』(本田寿久 中小企業経済同友会 2014年)。

